

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-122735  
(P2022-122735A)

(43)公開日

令和4年8月23日(2022. 8. 23)

|                          |                     |             |
|--------------------------|---------------------|-------------|
| (51)Int. Cl.             | F I                 | テーマコード (参考) |
| H 0 4 N 5/232 (2006. 01) | H 0 4 N 5/232 2 9 0 | 5 C 1 2 2   |
| A 0 1 K 29/00 (2006. 01) | A 0 1 K 29/00 A     | 5 L 0 9 6   |
| G 0 6 T 7/246 (2017. 01) | G 0 6 T 7/246       |             |

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 18 頁)

(21)出願番号 特願2021-20173(P2021-20173)  
(22)出願日 令和3年2月10日(2021. 2. 10)

(71)出願人 501203344  
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合  
研究機構  
茨城県つくば市観音台3-1-1

(74)代理人 110000338  
特許業務法人HARAKENZO WOR  
LD PATENT & TRADEMA  
RK

(72)発明者 三輪 雅史  
栃木県那須塩原市千本松768 国立研究  
開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
畜産研究部門内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 行動追跡システム、行動追跡方法、及びプログラム

(57)【要約】

【課題】連続画像に複数の動物の個体が含まれる場合であつても、良好な精度で動物の個体の行動を追跡することができる技術を実現する。

【解決手段】行動追跡システム(100)は、撮像素子(10)を用いて撮像した連続画像(400)を取得する取得部(21)と、前記連続画像(400)を時間軸に沿って個別の画像(500)に分割する分割部(22)と、前記個別の画像(500)において、動物の個体(200)を囲う枠(F)、及び前記動物の個体(200)の骨格(B)を検出する検出部(23)と、複数の前記個別の画像(500)の間で、前記個別の画像(500)の前記時間軸の情報、前記枠(F)の情報、及び前記骨格(B)の情報に基づき、前記動物の個体(200)の行動を追跡する追跡部(24)と、を備える。

【選択図】図1

図 1

